

配布用

令和 3 年 2 月 10 日 (水)
オンラインイベント

令和2年度 FB農業委員会グループ勉強会

— 地域(集落)の未来設計図を描こう！ —

思いをカタチにできるための 集落座談会の開き方

無断での
転用・複写
は禁じます

地方考夢(こうむ)員®研究所長
(一社)全国農業会議所専門相談員

澤 畑 佳 夫

「人・農地プラン」とは 地域(集落)における
「**農①** **の未来設計図**」のことです

同じ県・市内でも、状況・条件が違います
まして隣の地区（集落）でさえ全然異なります

今回の「人・農地プラン」策定の最大のポイントは
「**②** **した話合い**」でしたが
新型コロナウイルス感染症の問題等で・・・

それにより新たな課題も・・・

「遊休農地の解消とは、人間でいえば**治療**だ」

→ まずは③_____が重要では！

予防するためには、地権者等の意向を確認する必要がある
それが分かれば「**優良農地**」の状態を引き継げる

↓
地権者の利用意向(5年後)を調査しよう

人・農地プランの策定をするためにという意識は・・・

本来このプランは地域や市町村が自ら考えるものなのではないでしょうか

全農地の利用意向

(平成34年4月以降)

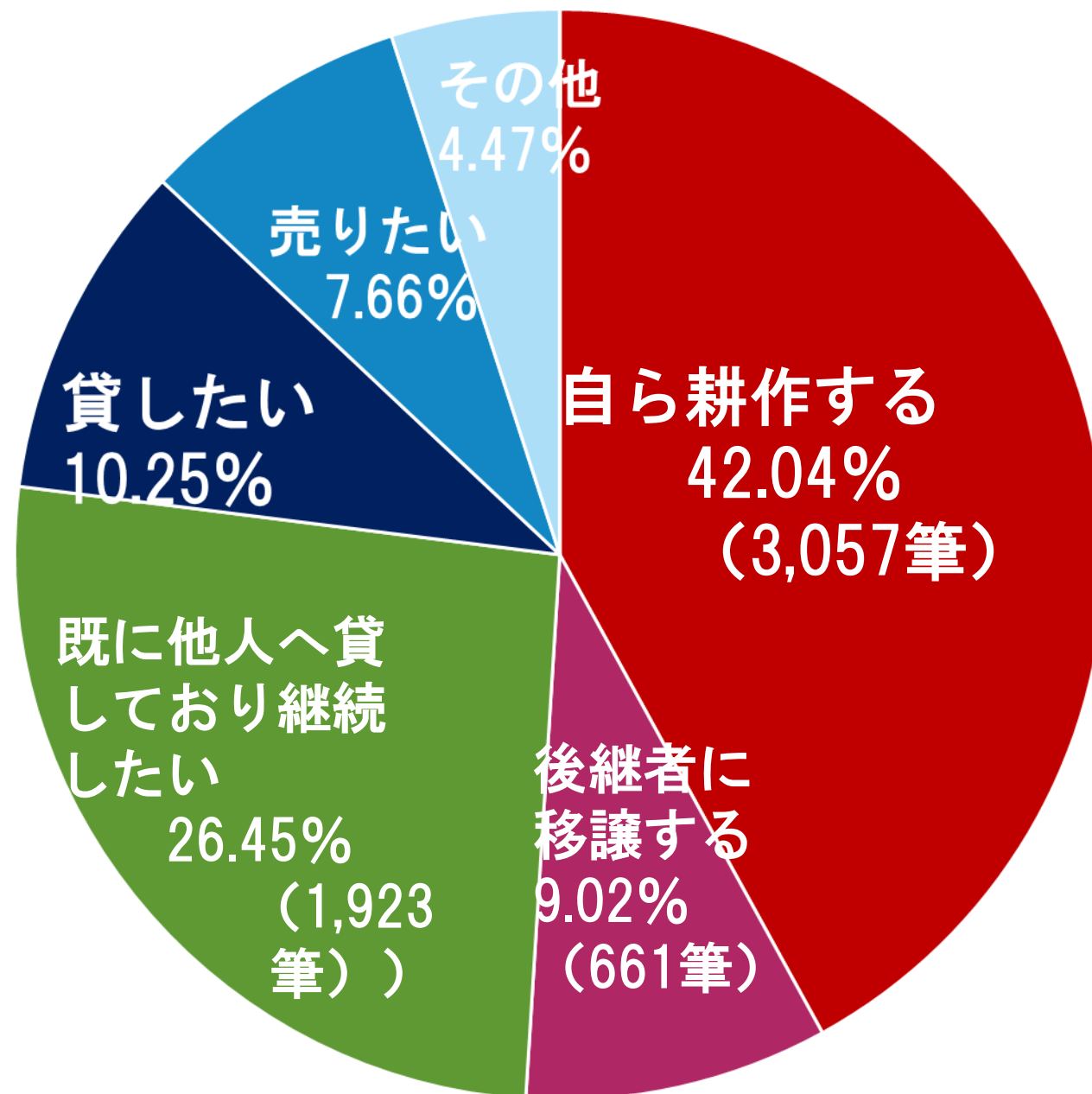
東海村地権者調査結果

回答率

71.21%

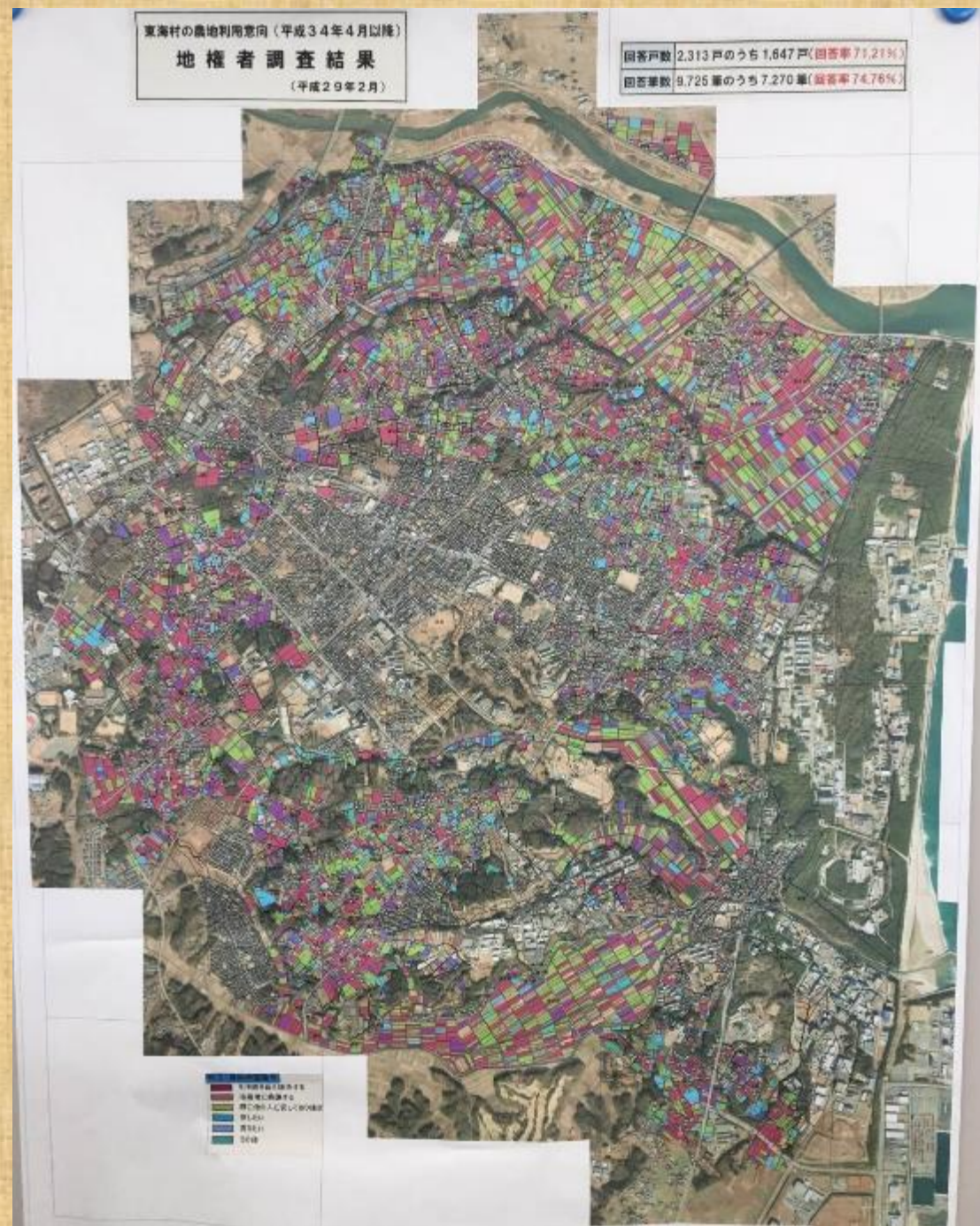
総筆数 9,725筆

回答筆数 7,270筆
(筆回答率 74.76%)

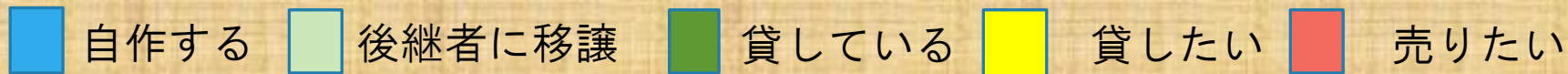


東海村全体図

色	内 容
	自ら耕作する
	後継者に移譲する
	既に他人に貸している
	貸したい
	売りたい
	その他
	(平成28年度地権者調査)



（平成28年度）





**農地利用
最適化推
進委員、
農委事務
局員によ
る地権者
(耕作者)
宅での
意向確認**



**危機意識
の醸成**

**地域での
説明会**

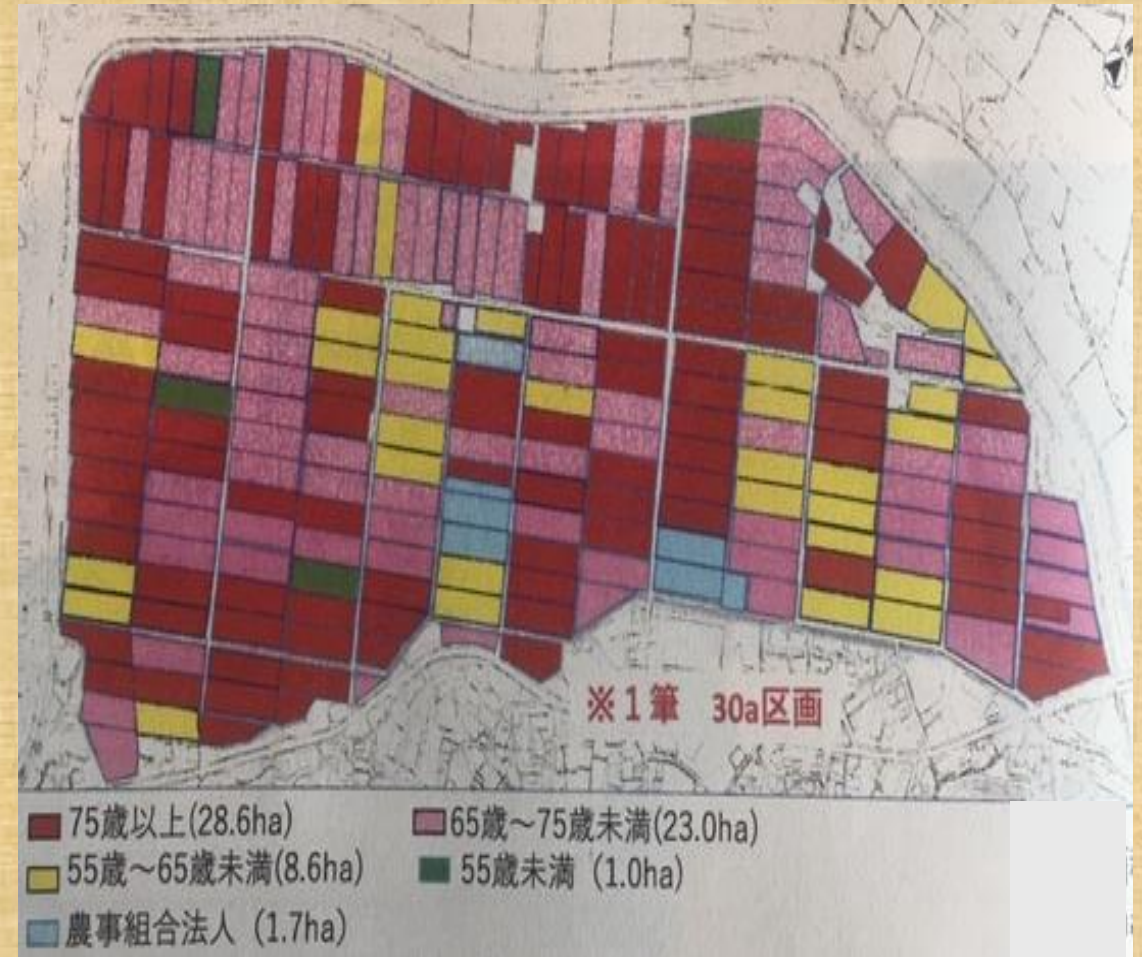


**情報の
提供・共有**

県外のある地区の年齢別就農者



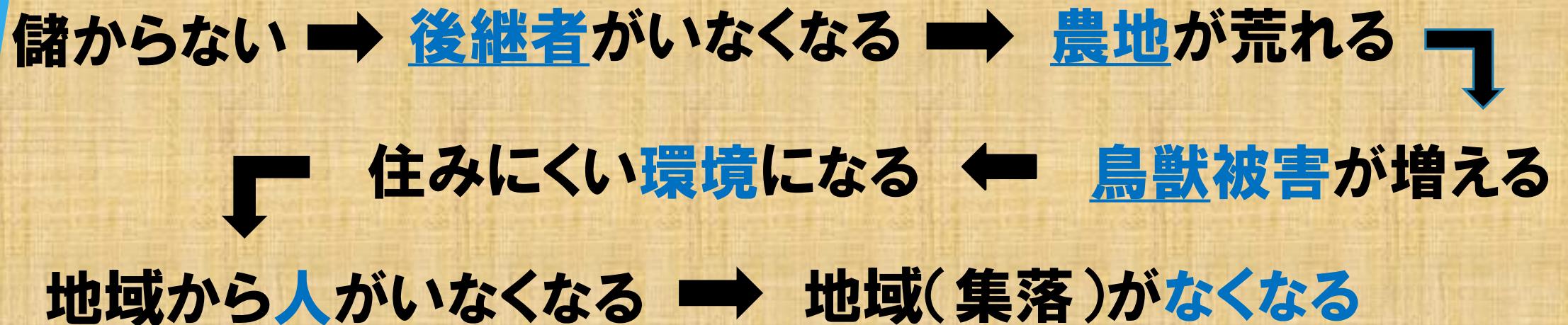
(現在)



(10年後)

質問1 人・農地プランは何のためにつくるのですか？

負の連鎖の一例



**目的：農業を通じて「④____可能な地域
(集落)をつくりたい」ということ**

質問2

この地域(農振地域)には、農業後継者や
認定農業者がいないのに、

人・農地プランを**作る**
必要があるのですか！



作らなくても良いと思えるのは

(市街化の農地は除く)

- 1 アンケート調査結果報告において、将来(取りあえず10年先まで)、全て(遊休農地、後継者等)において、問題がないと考えられる場合です
- 2 同報告を受けて、地域や関係者(行政・農委・最適化推進員等)の皆さんが、最終的には**限界(消滅)集落**になっても、やもを得ない?と考えている又は判断した場合です

⑤ めている・⑤ めた場合です

質問 3

**今日、参加されている皆さんは
地域(集落)座談会開催の案内が
届いた場合には参加されますか？**

他会場での結果は・・・

もし、皆さんが、主催者側の方でしたら、自分でも
参加したくないような座談会を計画しておかしい
(⑥)とは思いませんか？



それでは、関係者以外の方に「集まってくれ」とは、
自ら当然言いません・言えませんよね！



単に「座談会」を開催すればいいのではなく、まず
「⑦が参加したくなるような」
内容(進め方)になっているのが重要なのです。

私の経験では・・・

**これまでの座談会の議事録を読むと
お願いする行政と拒む住民？**

追及する住民と言いつける行政？

住民と行政が⑧関係になる場合が多かった

正直、その場にいたくない！という雰囲気

そして、開催後のアンケートをみると

- いつも(⑨ _____ 人)ばかりが話している
- (⑩ ____ の大きい人)の意見だけがとおる
- ごく少数意見が(地域・団体の⑪ _____)意見として取り上げられている場合がある
- どうせ意見を言っても変わらない
- その場で意見を言える(⑫ _____)がない

話し合いの途中では(○○のくせに・・・)という言葉

そして、これまでの合意形成の主な手法は

プレゼンテーション型が多い

分かりやすくいえば行政等(事務局)主導・提案型？

たたき台 → 説明 (⑬) → 実施

※ 私の失敗談

たたき台なので、当然「内容」の変更は
可能です、と言えればいいのですが...

⑭ _____ ?

内容や状況によっても異なるが行政提案型は

自分がやらなくても、行政が何とかしてくれるだろう・・・

地域の問題でも、まずは行政が考えるべきだ・・・

行政からの提案を受けてから考えて動けばいい・・・

この考え方を皆さんは、どう思いますか？

地域や住民間の課題や問題について
「^⑮_____の力で解決しようとする力」
を行政が低下させてしまったのではなかろうか？

一方、市町村ではマンパワーが不足で・・・

最近、役所の仕事が(⑬_____)になったね！

行政等を取り巻く環境も大きく変化してきており、
職場では質・量ともに業務が増大している



殆どの職員が目の前にある業務を処理することで
「手が一杯の状態」であるといっても過言ではない



**まずは、行政としても自主努力
「事務の改善・効率化等」が必要だが**

多様化する市民ニーズのすべてを職員だけで
対応するのははっきり言って**不可能**である

ちなみに、皆さんはご存じですか？

総務省「自治体戦略2040構想」研究会(H30/7)

2040年(20年後)には、今の⑰____ **%**の
公務員で行政を担う必要があるとの報告

- ①自ら活性化できる地域(一定規模の地方都市など)に資源と人口を集中させて周辺地域と公共交通で繋げるコンパクト＆ネットワークな地域をつくること
- ②自立の困難な地域では、公共サービスの提供を確保するため、周辺地域と連携して広域化を推進すること

では、どうすればいいのか！

その解決法の一つとして、「**市民協働**」が挙げられる

市民協働とは市民と行政・関係機関等がそれぞれの特性を活かし、共通する目標の実現に向けて連携すること

この「市民協働」が**地域の**^⑱_____を左右する



ファシリテーションを活用したワークショップ式
座談会は、市民協働のはじめの一步でもある

ところで、皆さん 会議とは？
お互いの意見を(①9_____)合う場です。

座談会は、次の**約束(宣誓)**からスタートします

- ☆自分ばかり話しません
- ☆頭から否定しません
- ☆楽しい雰囲気大切にします
- ☆参加者は対等です
- ☆皆が気持ちよく話せるよう協力します

合意形成のポイント

満足ではないが^{②①}_____はするよ！



皆が言うなら仕様がないか

説得はこちらがするもの

納得は相手がするもの

※ この納得感は**プロセス**
(やり方)から生まれます



埼玉県上尾市地頭方地区集落座談会

(令和二年十一月)





埼玉県上尾市地頭方地区集落座談会
(令和二年十月)

マスクをしていても
笑顔が！

埼玉県上尾市地頭方地区
集落座談会
(令和二年十一月)





B

マ：地頭方地区に新たな生産者（中心経営体、新規就農者等）を確保するためのアイデアを皆で考えよう！

いと思うもの3つ	投票欄
環境の整備(農地の集約)	10
新規就農者への支援(婚活)	7
農業の体験化	2
3つ以外に残しておきたいもの2つ	
企業誘致	1
イベント(祭り)	

農地の集約

農業の体験化

新規就農者への支援

企業誘致

イベント(祭り)

〇〇が悪い。だから進まないんだ！と文句や愚痴を言っている

②① **を起こさなければ**何も変わりません！！

ただ間違いなく言えることは



そう言っている間にも

貴市町村の「**②②** ()」
は増えている、という現実です

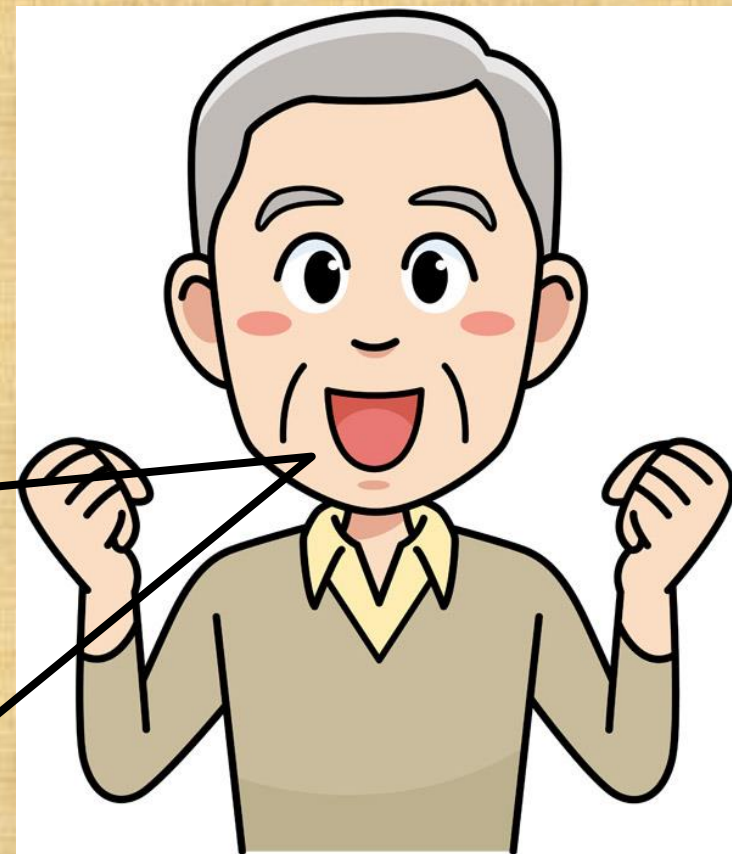
何故、分かっていたのに、昔の人たちは、
対応しなかったの？その時にしていれば、
こんなことにはならなかったのに……



その時の答えは・・・

確かに、そうだね。でも、本当は

「^{②③}_____」で済んだんだよ。
当時の地域の方，JA，役所等の
皆さんが頑張ってくれたから。そうじゃ
なければ，実はこの何倍も酷い状況に
なっていたんだよ。



今問われている「²⁴ _____ **感**」

今、既に困っている人たちがいる。
そして、このままではもっと困る
人たちが増えてくる！



行動開始は**今日から**、それとも**明日から**ですか？

皆さんのまちを、
より元気にするのは

「²⁵_____」です

ご清聴ありがとうございました



講師： 澤 畑 佳 夫（さわはた よしお）



昭和33年2月生，元茨城県東海村農業委員会事務局長（平成28・29年度）。1年間の再任用職員も経験し，平成31年3月末に退職。事務局長時に全農地を対象とした5年後の農地利用意向調査やファシリテーションを活用した農業集落座談会等を企画・実施し，その結果を基に農地中間管理事業を活用した大幅な農地集積等を行った。その手法や考え方は，これからの農地集積・集約，遊休農地の発生防止，解消等の先進事例として

全国から注視されてきた。現在，農業委員，農地利用最適化推進委員等農業分野をはじめ県・市町村職員、関係機関・団体（自治会・PTA・子ども会）等を対象に現場出身者ならではの目線を大切にした講演会や研修会の講師を務めている。その受講者はこれまでに「1万人」以上、また受講者からの満足度も9割を超えている。参加者の思いをカタチにすることを重視したまちづくりを提唱しながら日々多忙な毎日を送っている。

現職：地方考夢員®研究所長 （一社）全国農業会議所専門相談員（令和元年度からの委嘱）

（一社）ソトコト（ソーシャル&エコ・マガジン）流域生活研究所長

（一社）MFA（会議ファシリテーター普及協会）認定ファシリテーター

（一社）茨城県子ども会育成連合会理事兼専門員

【モットー】過去の実績よりも，今何が出来ることが重要なんだ！！

【連絡・相談・問合せ先 mail】 s-gonta@ozzio.jp

参考 ファシリテーション【体験編】(5時間コース)の内容

	時間	主 な 講 座 の 内 容	講 師
①	90分	座 学「なぜ、付箋を活用した座談会は効果がでるのか、その雰囲気づくり・進め方のポイント！」他	地方考夢員研究所長 (一社) 全国農業 会議所専門相談員 元東海村農業委員会 事務局長 澤 畑 佳 夫 33
②	30分	座 学「話しやすい雰囲気づくりとは！ 自己紹介・アイスブレイクの仕方、参加者の心得」他	
③	150分	実 技「個人のアイディアを書く、個人のアイディアを聴き合う、グループとしてまとめる、グループ代表による発表、投票による方向性の確認」 他	
④	30分	まとめ「講師からのアドバイス」 他	